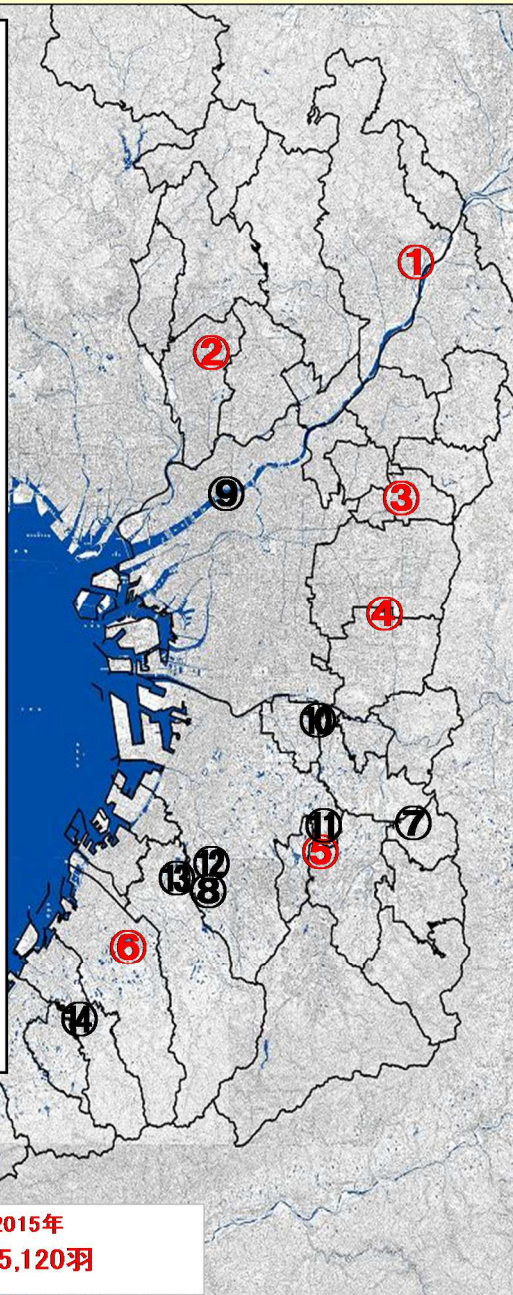


大阪府ツバメのねぐら 2015

(凡例) ○:今年確認されたねぐら ○:引越し若しくは消滅したねぐら

2013	→2014	→2015年
① 高槻市道鶴町・淀川鶴殿	34,000	→40,000→40,000羽
② 豊中市柴原・赤坂下池	9,200	→9,500→12,000羽
③ 大東市深北緑地	0	→600 →400羽
④ 東大阪市池島・恩智川緑地	520	→550 →220羽
⑤ 堺市美原区・舟渡池(新規)	0	→ 0 → 12,000羽
⑥ 岸和田市岡山町・久米田池	3,000	→3,500 → 500羽
*** 今年消滅***		
⑦ 太子町聖和台・防災用ため池	3,000	→10,000→ 0羽
⑧ 堺市中区平井・休耕田	10,000	→8,000→ 0羽
... 昨年以前消滅 ...		
⑨ 大阪市東淀川区・淀川豊里	50	→ 0 → 0羽
⑩ 松原市上田2丁目・寺池	100	→ 0 → 0羽
⑪ 堺市美原区太井・花田池	2,000	→ 0 → 0羽
⑫ 堺市西区山田2丁・元緑池		
⑬ 和泉市上代町・会池		
⑭ 貝塚市麻生中・唐間池		
⑮ 阪南市黒田・速水池		



合計	2013年	2014年	2015年
	61,870 羽	→72,150	→65,120羽

2015年ツバメのねぐら調査は、大阪府内各地の環境団体、高槻野鳥の会、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、池島福万寺カワセミ楽会、久米田池愛鳥会、大阪鳥類研究グループ、公益社団法人大阪自然環境保全協会、そして日本野鳥の会大阪支部の協力を得て実施しました。

その結果、ねぐらの数は昨年7ヶ所が6ヶ所と1ヶ所減、ねぐら入りしたツバメのカウント数は、昨年 72,150 羽→65,120 羽と、7,000 羽減となった。

北大阪にある二大ねぐらの①高槻鶴殿は40,000羽で昨年の同数、②豊中赤坂下池で12000羽の2,500羽増となったが、南大阪では昨年1万羽近くいたねぐら2ヶ所、⑦太子町聖和台防災ため池(10,000羽)と、⑧堺市中区休耕田(8,000羽)が利用されなかった。

また、⑤堺市美原区舟渡池に12,000羽の新規ねぐらが誕生したものの、中央大阪の③深

北緑地や④恩地川緑地、南大阪の⑥久米田池で個体数が漸減しており、大阪府全体でも減少となった。

特に南大阪ではねぐら数が3→2ヶ所、個体数9,000羽減となったが、ため池の多い地域であり、これまでも移動が激しいので、新しく未知のねぐらができていることも予想される。来年度は各団体のご協力を得て情報収集を強化するとともに、7月下旬～8月上旬頃にツバメのねぐらを探すための「南大阪ツバメのねぐら調査隊(仮称)」を設置し、ため池巡りを実施することを検討したい。



ツバメ集合中(豊中市赤坂下池)